

原 隆夫 議員（公明党）

児童保育クラブの待機児童
解消など子育て支援の充実を



町長 町の実情をモニタリングして
研究していく



質問 児童保育クラブは平成27年から対象が小学6年生までとなっているが、小学5年生の保護者から「申請したが入らず、仕事の働き方を変えざるを得なくなった。何とか改善してほしい」との声があった。子どもが放課後に過ごす安全な居場所である児童保育クラブは、働く保護者にとっても大切な施設である。待機児童を解消するなどし、子育て支援のさらなる充実をすべくと考えるが、町長の所見を伺う。



子ども学習番組を視聴している児童（二小学童）

町長 一部の児童保育クラブでは、定員を超えて申し込んでいる状況も見受けられるが、定員を越えて受け入れているクラブもある。

質問 町内にある大型商業施設では方針転換を理由にシルバー人材センターとの請負契約を解除する方針を固めた。令和5年2月末日に約40人の削減、同年5月には約10人が削減され、実質ゼロとなる。



榎本 義輝 議員（自民誠和会）

大型商業施設の
請負解除について

町長 就業開拓できる側面支援をしたい

町長 契約解除の理由は全店舗統一の社内方針によるものであるとの説明があった。シルバー人材センターは継続を申し出たが、会社全体の方針なので難しいとの回答があり、やむなく了承したと聞いた。

こんな質問もありました
ナッジの活用をした
まちづくりを
町長 研究したい。

ナッジ…本人が無意識に、よい選択をするように誘導すること。



シルバー人材センター

小川 龍美 議員（公明党）

带状疱疹ワクチン
接種費用の助成を



町長 適切な時期に助成事業を構築したい



質問 带状疱疹は成人の9割が原因となるウイルスを保有しており、80歳までに3人に1人が罹患するとされている。東京都は1月27日、2023年度予算案を発表し、带状疱疹ワクチンの接種費を助成する区市町村への補助事業を23年度から実施すると明らかにした。自己負担軽減を目的として、50歳以上を対象に接種費を助成する区市町村に2分の1を補助するとしている。この機会に、町も接種費用の助成を行うべきと考えが。

こんな質問もありました
3歳児健診の視力検査の方法と精度を問う
町長 屈折検査機器を新たに導入し、弱視原因の早期発見に努めている。



下野 義子 議員（公明党）

国道16号沿線に「みずほ」を冠する
町の産業を発信できる拠点づくりを



町長 持続可能な施設となり得るかを
見極めることが重要



国道16号沿線

質問 町には「みずほ」の名を冠し、常駐的にブランド品や生産物を販売できる拠点が無い。国道16号沿線に町の生産物などを販売でき、24時間利用できる広い駐車場、きれいなトイレ、自動販売機のある地の利を生かした施設の整備を提案する。広域行政圏や近隣自治体のアンテナショップなども呼び掛け、西多摩地域の情報発信の拠点としても検討してはどうか。施設整備や運営の財源についても、住民や民間の力を生かせる手法を考えては。

町長 議員提案の拠点づくりは現実的には難しい。四季を通じて町の生産物を販売できるか。地元の生産物の安定的な確保は可能か。新たな産物の開発が可能かなどの課題がある。公費を使って建設したとしても、農家・商店などが積極的ににかかわらなければリスクの全てを自治体が担保することとなりかねず、巨額な運営費用も発生する。施設の設置については、地域活性化への貢献度や持続可能となり得るかをしっかりと見極めなければならない。

町長 都は、令和5年度予算案に带状疱疹ワクチン任意接種補助事業経費を計上した。

